

ドローンシュート®

公式ルールブック

ドローンシュート公式ルールブック（最新版）

2026年10月10日

【ドローンシュート公式ルールブック（最新版）】

1. ドローンシュートとは

ドローンシュートは、ドローンのダウンウォッシュ（下向きの風）を利用し、ボールを転がして相手ゴールへシュートする新しいドローンスポーツである。操作スキル、戦術、判断力が問われる競技で、子どもから大人まで楽しめる安全性と競技性を兼ね備える。

2. コート仕様

- 標準コートサイズ：横 240 cm × 奥行 120 cm
 - ゴール：幅 44cm、高さ 15cm、奥行 23cm
 - コート周囲：会場によっては安全ネットを設置
 - ライン：外周ライン・センターラインを明確に表示
-

3. 使用機材

3-1. ドローン（マシン） 規程

競技に使用するマシンは、以下の条件を満たすものであれば、既製品・カスタム機・自作機を問わず使用を認める。

- フレームサイズ：65 サイズ以内（モーター芯の対角線長が 65mm 以下）
- 総重量：45g 以下（バッテリー、ストライクバンパー、カメラ等の全装着物を含む）
- プロペラガード：装着必須。プロペラ全体がプロペラガード内に完全に収まっていること。
- プロペラ・モーター・パーツ：形状・種類・セットアップは自由（カスタム可）。
- 高度維持機能（オプティカルフロー/気圧センサー等）：有無を問わない（ATTI モード/アクロモードでの参加も可）。
- FPV カメラ・電波規程：
 - 映像送信機（VTX）が搭載されている場合、試合中は PIT モード（出力オフまたは超弱電波）とし、電波を出さない・または混信させない状態にすること。
 - 操作は目視飛行に限る（FPV ゴーグルやモニターを見ながらの操作は禁止）。
- 撮影禁止：競技中のマシン搭載カメラによる動画・静止画撮影は禁止とする。
- 安全基準：その他、大会運営側・審判員が「危険」と判断した機体は使用を禁止する。
- 車検の実施：公式大会では、試合前にサイズおよび重量の事前車検を実施し、合格した機体のみエントリーを認める。

3-2. ボール

- 使用数：各セット 5 個
 - 直径：60mm
 - 材質：ゴム製・樹脂
-

4. 試合形式

4-1. 基本形式

- 1 セット 2 分
- 5 つのボールをセンターに並べて開始
- 3 点先取でそのセット勝利
- 全 3 セット制

4-2. 勝敗

- 各セットの勝利数が多いチームが試合勝利
- セットが 2-2 で並ぶことはない（3 セット制）
- 2 セット先取で勝利（例：2-0 または 2-1）

4-3. 引き分けの決定方法（制限時間終了時に同点の場合）

- 各サイドのゴール前にボールを 1 つ配置
 - 主審の合図で同時スタート
 - 先に得点した方を勝者とする “シュートアウト方式” を採用する
-

5. 選手とチーム（人数）

- 1 対 1 ：個人戦
 - 2 対 2 ：ペア戦
 - 3 対 3 ：チーム戦
-

6. 試合の流れ

1. フライトチェック（機体・コントローラー・プロペラ・ストライクバンパー）
 2. ボール 5 個をセンターへ配置
 3. 選手は自陣スタート位置へ
 4. マシンは「スカイゲートへセット」する
 5. 主審「3・2・1・シュート！」で試合開始
 6. 2 分経過 or 3 点先取でセット終了
 7. セット間に 120 秒の休憩
-

7. 得点ルール

- ボールが完全にゴールラインを超えたら 1 点
 - ドローンの風で押し込んで OK
 - 機体がボールに物理接触して押し込んで OK
 - ゴールラインを超えたボールが再度フィールドに入っても点数に変更はなし
-

8. 反則行為

反則名	内容	対応
接触反則	ドローン同士の衝突	警告、悪質なら退場
押し出し	ドローン本体で相手ドローンを押す	警告、悪質なら退場
ラインオーバー	機体が外周から出る	中央へ戻し再開
ボール固定	ボールを風圧で 2 秒以上押さえ込む	ボールを中央に戻し警告
危険飛行	選手へ向かう高速飛行など	即時停止・警告
機体変更	試合途中で機体を交換する	禁止
電池交換	試合途中でのバッテリー交換	試合途中（1 回目 OK）

9. 審判体制

- 主審 1 名：試合進行、反則判定
 - 副審 1 名：得点補助・ライン判定
 - 記録係（T0）1 名：スコア、タイマー
 - 安全管理員（推奨）
-

10. 審判員の権限

- 得点／反則／セットの勝敗を決定
- 選手の安全確保
- トラブル対応・中断の判断
- シュートアウト実施の決定

※判定に対する異議申し立ては認められない。

10. 安全ルール（飛行前点検）

- ストライクバンパー装着
- プロペラ破損の確認
- モーター反応チェック
- バッテリー残量
- 電波干渉確認

11. トラブル対応

- 機体故障 → 試合停止、セット間のみ交換可
 - ボールが外へ飛び出す → 副審がセンターへ戻す
 - 抗議 → 主審の判定が最終
-

12. 用語

- マシン：ドローン
 - プロポ：送信機
 - シュート：ボールを転がしゴールを決めること
 - アタックシュート：マシンが物理接触してシュートを決めること
 - エアロシュート：ダウンウォッシュでシュートを決めること
 - インターセプトガード：シュートされそうなボールを追いかけて得点を阻止すること
 - ウィンドシールド：ゴール前で継続的にした向きの風を送り続け得点を阻止すること
 - シュートアウト方式：引き分けの場合のサドンデスのこと
 - スカイゲート：マシンの離陸場所
 - ストライクバンパー：ドローンに装着するバンパー部品
-

ドローンシュートは、株式会社ドローンアップの商標です。

営利目的でのイベント活用は、一度お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

日本ドローンシュート協会

ドローンシュート公式スコアシート（最新版対応）

大会名： _____ 日付： _____ 年 _____ 月 _____ 日 場所： _____

【対戦カード】

- 選手/チーム名（左）： _____
- 選手/チーム名（右）： _____

【試合記録】

※1 セット 2 分、3 点先取で勝利。セットカウント 2-0 または 2-1 で試合終了。

セット	チーム（左）スコア	チーム（右）スコア	決着（チェック）
第1セット			☐ 3 点先取 / ☐ タイムアップ
第2セット			☐ 3 点先取 / ☐ タイムアップ
第3セット			☐ 3 点先取 / ☐ タイムアップ
合計	計 _____ セット	計 _____ セット	勝者： _____

シュートアウト（延長戦）：引き分けの場合のサドンデス。* ☐ チーム（左）勝利 / ☐ チーム（右）勝利

【反則・警告記録】

※判定に対する異議申し立ては認められません。

チーム名	反則種別（正の字でカウント）	備考（警告・退場等）
	☐ 接触 ☐ 押し出し ☐ ラインオーバー ☐ ボール固定	
	☐ 接触 ☐ 押し出し ☐ ラインオーバー ☐ ボール固定	

【公式機材・安全チェック】（試合前点検）

- ☐ マシン規格：指定機体（HS210 等）
- ☐ ストライクバンパー：装着必須
- ☐ スカイゲート：指定位置へのセット完了
- ☐ フライトチェック：プロペラ破損・モーター反応・バッテリー・電波干渉

【公式認定技アワード】（任意記録）

- アタックシュート（物理接触シュート）
- エアロシュート（ダウンウォッシュによるシュート）
- インターセプトガード（追いかけて得点阻止）
- ウィンドシールド（ゴール前での継続的な風による防御）

主審署名： _____ 記録係署名： _____